

- ・2面…市議会3月定例会の結果、太陽光発電などに補助金
- ・3面…緑化まつりは4/29～5/1

特集(4・5面)…平成18年度予算の概要を分野別に紹介

●発行 平塚市 ●編集 企画部広報課
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 23-1111・35-1111 FAX 23-9467
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
●発行部数 102,000部(毎月1日・15日発行)

市民一人あたりの予算額

一般会計の主な歳入・目的別歳出を3月1日現在の人口259,139人で割った額。()内は前年度比です。予算額の730億9,000万円を市民一人あたりにすると282,049円になります。

歳入(収入)

市税 160,356円
(-864円)



市民税や固定資産税など

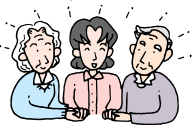
市債 14,324円
(-184円)



借入れ金

歳出(支出)

民生費 83,010円
(+1,935円)



福祉に関する費用など

衛生費 29,718円
(+514円)



ごみ収集の費用など

土木費 50,350円
(-1,106円)



道路や建物の建設など

教育費 28,733円
(-1,514円)



小・中学校に関する費用など

※予算額は万円単位に、一人あたりの額は円単位に四捨五入しています。

平成十八年度がスタートしました。今年度の平塚市の一般会計予算額は、前年度より一・〇%少ない七百三十億九千万円です。依然として、厳しい財政状況が続いていますが、今年度は「協働」が芽生え、安心・安全に暮らせるための予算」を編成しました。この予算により、総合計画第三次実施計画の実現に向けた様々な事業を展開していきます。今回はこの「平成十八年度予算」の概要を紹介します(四・五面に続く)。

◆問い合わせ先 財政課(☎21-8765)

安心・安全の充実へ

平成18年度が動き出す。

こんな事業を展開します。

★障害のある子どもたちに放課後活動の場を確保

障害のある中学生・高校生を中心に、放課後活動の場を確保するとともに、保護者が忙しいときなどに代わりに子どものケアをする「障害児タムケア事業」を実施します。↓一千七百五十二万円(市民一人あたり/六十八円)

★新保健センターの整備

総合的な保健業務の拠点として、休日夜間急患診療所などの機能を備えた新保健センター(東豊田)の整備工事を始めます。↓二億五十三万円(市民一人あたり/七百七十四円)

★耐震費用の一部を補助

災害に強いまちづくりのため、一般木造住宅の耐震費用の一部を補助することにより、地震対策の普及に努めます。↓一千四百三十五万円(市民一人あたり/五十五円)

★震災対策を充実

長期保存食や生活必需品な

どの備蓄を進めます。また、防災意識を高めるため、起震車を新しくします。↓三千三百六十六万円(市民一人あたり/百二十八円)

★高等学校に備蓄倉庫を設置

災害時の指定避難施設になっている高等学校などに、備蓄倉庫を設置し、避難施設としての機能を強化します。↓四百万円(市民一人あたり/十五円)

★屋内運動場の耐震補強

小・中学校の屋内運動場(体育館)の耐震診断や耐震補強工事を進めます。↓二億六千九百四十九万円(市民一人あたり/一千四百円)

★防犯街路灯を照度アップ

犯罪を未然に防ぐため、全市域で防犯街路灯の照度をアップします(二〇〇ワット蛍光灯を八〇ワット水銀灯に)。↓四千二百万円(市民一人あたり/百六十二円)

★金目小学校区に学童保育

金目小学校区に新たに放課後児童クラブ(学童保育)を開設し、市内全十五クラブで、放課後児童健全育成事業を進めます。↓一億三千三百九十一万円(市民一人あたり/四百七十八円)

★西工業技術高等学校跡地に桜ヶ丘公園を整備

平塚西工業技術高等学校の跡地に、災害時の一次避難地となる「桜ヶ丘公園」の整備工事を始めます。↓五億二千二百三十三万円(市民一人あたり/二千四百円)

紹介します。市民一人あたり282,049円の一般会計予算

平成18年度は、防災・防犯をはじめ、福祉、環境、文化、教育など、暮らしの基礎となる「安心・安全」の充実に力を入れます。中でも子どもたちの安全には地域が一体となって見守る体制ができつつあり、非常にうれしく思います。ゆったりと心が安らぐまちになるよう、日々の生活にかかわる事業をしっかりと見つめ、地域と行政とが力を合わせた、様々な協働の取り組みが芽生える年度にしたいと願っています。

市長 大蔵 律子



◀ 普段は交差点などに立ち、大野小学校の子どもたちを見守る「四之宮防犯」のみならず。この日は一堂に集まっていたとき、市長とともに、帰宅する子どもたちに声をかけました(後方は市内を巡回している青色パトロールカー)。



広報ひらつかを携帯電話でご覧になれます。メニューリスト(トップメニュー)→テレモ自治体情報→平塚市



広報ひらつかは古紙配合率100%の再生紙を使っています

市議会
3月
定例会「さわやかで清潔な
まちづくり条例」が誕生

市議会三月定例会が二月二十一日から三月二十二日までの日程で開かれ、平成十八年度一般会計予算など四十三議案を市長が提案しました。このうち四十二議案は原案どおり可決されましたが、「自治基本条例」については継続審議となりました。主な内容は次のとおりです。
(平成十八年度予算の概要は一・四・五面に掲載)

◆5つの条例を新設

◎さわやかで清潔なまちづくり条例

環境に関する身近な課題について、市や市民などの役割を明らかにしました。

また、快適で清潔な暮らしを阻害する行為を禁止することで、豊かで住みよい地域社会をつくることを目的に定めました。

この条例は、平成十八年十月一日から施行します。

【条例に定めた禁止行為】

- ・公共の場所に空き缶やたばこの吸い殻などを捨てること
- ・犬の散歩中などにふんを放置すること



「試合の前にみんなでごみ拾いをしよう!」。そんな呼び掛けに3月11日の試合前、たくさんの湘南ベルマーレサポーターが集まり、平塚駅から平塚競技場までの道のりを清掃しました。今、市内のいろいろなところで「さわやかで清潔なまちづくり」が始まっています。

- ・公共の場所にたんやつばを吐くこと
- ・公共の場所に落書きをする

- ・「路上喫煙禁止区域」でたばこを吸うこと

- ・深夜に公共の場所や静穏な生活を害するおそれのある場所で花火をすること

- ・ごみステーションからアルミ缶などの資源再生物を持ち去ること

◇問い合わせ先 資源循環課(内線2240)

◎国民保護協議会条例

◎国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例

平成十六年九月に施行された「武力攻撃事態等にお

ける国民の保護のための措置に関する法律」に基づき、国民の保護に関する重要事項を審議する「国民保護協議会」や、国民保護措置を進める「国民保護対策本部」などの組織や運営について定められました。

◇問い合わせ先 防災課(内線217534)

◎災害派遣手当等の支給に関する条例

災害時などに国や他市町村から平塚市に派遣された職員への手当などについて定められました。

◇問い合わせ先 職員課(内線218762)

太陽光発電や雨水の利用に補助金
環境に優しい生活を応援します

資源やエネルギーを有効活用する施設や機械を自宅に設置・購入する方に、費用の一部を補助します。

太陽光発電施設

△対象 住宅の屋根などに設置し、電力会社と電力供給契約を結ぶもの

△補助金額 1キロワットあたり

一万円に太陽電池の最大出力を乗じた金額(限度額四万円)

◇問い合わせ先 環境政策課(内線2266)

△電動生ごみ処理機

△対象 微生物を利用して生ごみを分解、消滅、堆肥化する電動の処理機や、熱で乾燥させて容量を減らす処理機

◎障害者介護給付費等の支給に関する審査会の委員の定数等を定める条例

同審査会の委員定数を十四人以内と決めました。

◇問い合わせ先 障害福祉課(内線218774)

◆「自治基本条例」は継続審議に

自治基本条例は、自治の基本となる重要な条例であり、さらに十分な時間をかけて慎重に審議をしていく必要があることから、継続審議となりました。

◇問い合わせ先 まちづくり政策室(内線219618)

◆平塚西工業技術高校跡地を「桜ヶ丘公園」に

桜ヶ丘の平塚西工業技術高等学校跡地を市有地として取得することについて承認されました。

この土地は、防災やスポーツ振興の拠点として、ま



「太陽光発電を取り入れています」 曾我清さん(めぐみが丘一丁目)のお宅の屋根にはソーラーパネルが。

△補助金額 処理機本体購入費の2分の1(限度額三万円)

◇問い合わせ先 リサイクルプラザ(内線515301)

△雨水貯留槽施設

△対象 容量が100リットル以上で集水管、本体、排水管で構成される施設

△補助金額 購入費用の2

分の1(限度額三万円)

◇問い合わせ先 下水道総務課(内線2447)

△浄化槽転用雨水貯留槽施設

△対象 浄化槽をポンプ付き貯留槽に転用する施設

△補助金額 設置費の2分の1(限度額四万円)

◇問い合わせ先 下水道総務課(内線2447)

た、みなさんの憩いの場として整備していきます。

◇問い合わせ先 みどり公園課(内線2647)

市民活動ファンド
市民活動団体をサポートします

市内を拠点に活動する市民活動団体を資金面で支援する「公益信託ひらつか市民活動ファンド」の助成団体を募集します。助成先は、書類審査とプレゼンテーションによる公開審査会で決定します。

- ▷コースと助成額
- ・入門コース…100,000円
(活動を始めて3年以内の団体)
 - ・発展コース…500,000円
(活動を発展させる団体・新規事業を展開する団体)

▷説明会 4月23日(日) 午後1時30分～2時

▷審査会 6月18日(日) 午前10時～午後5時30分

▷説明会・審査会会場 ひらつか市民活動センター

▷申し込み方法 市民活動センターで4月17日(月)からお配りする申込書を、4月24日(月)～5月19日(金)に同センターへ

▽市民活動課(内線21-7534)



「発展コース」の助成を受けた「楽しい本との出会いを広げる会」の活動

廃棄物対策審議会
委員を募集します

ごみの減量化や資源化などの施策について審議していただく委員を募集します。

△対象 次の①～③を満たしている方

①市内に1年以上お住まい

②ほかの附属機関委員など

③年齢が18～75歳

△募集人数 2人(選考)

△任期 6月1日～平成20年5月31日 ※会議は年4回程度、平日に開催

△報酬 1回あたり一万一千三百円

△応募方法 資源循環課(市役所新館2階)・市役所1階案内窓口、公民館などにある申込書を、本人が直接同課へ ※申し込み用紙は市のホームページからダウンロードできます

△締め切り 5月8日(月)

◇お問い合わせは、資源循環課(内線2185)へ。

参加者募集

市民と市長の

いどばた会議

①テーマで話そうコース

今回のテーマは、「地域の防犯・子どもの安全」です。

▷日時・会場 5月20日(土) 午後3時30分～5時30分・市民活動センター

②地域で話そうコース

▷日時・会場 5月31日(水) 午後7時～9時・大神公民館

◆定員 各20人(抽選・「地域で話そうコース」は開催地域の方を優先)

◆申し込み方法 参加希望日と、住所、氏名、電話番号を電話、ファクス、Eメールで市民情報・相談課(内線21-8764・FAX21-9609・E:jousou@city.hiratsuka.kanagawa.jp)へ ※市のホームページ「いどばた会議」からもお申し込みいただけます http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/idobata/

◆締め切り ①5月10日(水) ②5月18日(木)

▽市民情報・相談課(内線21-8764)

総合計画=ひらつかの羅針盤

市では今、平成19年4月からスタートする新しい総合計画(次期総合計画)の策定を進めています。総合計画とは、市の様々な計画や施策の元となるもので、市政運営の基本となる指針を示した最上位の計画です。例えるなら、今後の平塚市の進む方向を示した羅針盤であり、舵取りをしていくための基礎となるものです。現在は、昭和63年に策定した「新平塚市総合計画」と平成10年に策定した「改訂基本計画」に基づき、様々な施策や事業に取り組んでいます。

これから次期総合計画の策定作業も最終段階に入ります。多くの方に総合計画を身近な存在としてとらえていただけるよう、これから1年にわたりみなさんに計画策定までの内容をお知らせしていきます。今回は、「市民との協働」です。

ひらつか10年物語
総合計画

▽企画課(内線21-8760)

4月1日、公益通報者保護法が施行されました

守ります。みなさんの正義

◇問い合わせ先 市民情報・相談課(内線21-8764)

企業の不当な行為などを通報した方を保護する法律「公益通報者保護法」が施行されました。近年、内部からの通報を契機に、わたしたちの安全を損なうような企業不祥事が相次いで明らかになりました。この「公益通報者保護法」は、企業などの法令違反行為を通報した方を、解雇などの不利益な扱いから守ります。市では、市民情報・相談課が窓口になり、みなさんからの通報に対応します。

派遣先での活動に胸躍らせる
小泉さん(写真左)と渡邊さん



青年海外協力隊
小泉敦司さん 渡邊千華さん

四月から二年間、青年海外協力隊の隊員として派遣されるお二人に会いました。初めての体験だそうですが「幸い英語圏なので、現地の人として対話もできる」と期待に胸を弾ませていました。
小泉さんの派遣先はミクロネシア。日本のはるか南、太平洋の小さな島々が集まった国です。その中のヤップ島やユリシ環礁を舞台に、村落

市民豆ルポ

話題を追って



レポーター
五味 英夫さん
(市政モニター)



4月29日(祝)～5月1日(月) 総合公園で開催

緑化まつり

花とみどりの祭典「緑化まつり」を総合公園で開催します。植木市や花市をはじめ、お茶会やコンサート、キャラクターショーなどたくさん催しを用意してお待ちしています。
お問い合わせは、みどり公園課(内線2599)へ。
▽主なイベントと会場
*花の寄せ植えづくり(平塚のはらっぱ中央テント)
・日時 4月29日(祝)・30日

野外ステージイベント

●4月29日(祝)

9:00 開会式
9:30 フラワーマジックショー
11:00 仮面ライダーカブトショー
12:15 子どもの安全・防犯教室
13:00 大正琴の演奏
14:00 仮面ライダーカブトショー
16:00 神奈川大学ジャズ研究会ライブ

●4月30日(日)

10:00 吹奏楽コンサート
11:30 沖縄民謡の演奏
13:00 民謡花舞台(舞踊)
14:30 沖縄民謡の演奏

●5月1日(月)

13:00 藤原一晴ライブ
14:30 アクアマリンライブ

日(日)午前10時～正午・午後1時～3時
・定員 各回150人(当日先着順)
・材料費 500円
*湘南風お茶会(日本庭園)
・日時 4月29日(祝)～5月1日(月)午前10時～午後3時
*ミニ機関車乗車会(平塚のはらっぱ西側)
・日時 4月30日(日)午前10時～正午 午後1時～4時

田植えから稲刈りまで
みんなで
チャレンジ
米づくり体験隊

田植えから稲刈りまでの米づくりを体験する「米づくり体験隊」に参加する家族を募集します。
今回作る米は、神奈川県推奨の新品種「さとしまん」です。秋に収穫した米は、

開発普及員として農産物の栽培の指導に当たるそうです。
渡邊さんは、日本から飛行機で丸一日半かかるアフリカ大陸西部のガーナへ向かいます。派遣先は、のどかで感じのいい地域だそうです。高校生の物理の授業を担当するほか、「現地教師のレベラアッブや文化交流に関わりたい」と話しています。

小泉さんは「地域社会に還元できるように全力で仕事に取り組みたい」、渡邊さんは「将来は途上国の都市計画に関わりたい」と決意を新たにしています。

*特設花壇のお花をプレゼント(平塚のはらっぱ北側) 100円以上の募金をしていただいた先着三百人の方にプレゼントします。
・日時 5月1日(月)午前11時
*培養土のプレゼント(植木市会場)
じゃんけんゲームの勝者に合計一千五百袋をプレゼントします。
・日時 4月30日(日)午後1時・2時30分、5月1日(月)午後2時30分
*植木のオークション(植木市会場)
・日時 5月1日(月)午後1時



秋の収穫が待ち遠しいね

参加した家族に均等に分配します。一家族あたり約三十kgの米が収穫できる見込みです。
▽体験内容と予定日
・田植え 6月11日(日)
・草取り 7月8日(土)
9月上旬・中旬
・稲刈り 10月14日(土)
・精米工程見学 10月15日(日)

親子で
びわ青少年の家
森の新緑祭

土屋のびわ青少年の家を会場に「森の新緑祭」を開きます。新緑が美しいびわの里の自然を親子で楽しんでください。
▽日時 5月13日(土)午前9時～午後3時
▽会場 びわ青少年の家
▽内容 竹を使った食器作り、新芽の天ぷら・うどん作りなど
▽対象 市内にお住まいの

▽募集数 18家族(抽選)
▽参加費 一家族一万五千円
▽申し込み方法 農産課〒254-0051豊原町2-21豊原分庁舎2号館2階にある申込書を4月28日(金)までに同課へ
※申込書は市のホームページ

中央図書館3階にオープン
中田文庫



市内にお住まいの子ども民俗研究家中田幸平さんに、子どもの遊びやおもちゃに関する二百九冊の本を寄贈していただきました。これらの本を手にとって読んでいただけるよう、四月二十日(木)、中央図書館に「中田文庫」をオープンします。
また、中田さんに寄贈していただいた子どものおもちゃと郷土玩具を、五月三十一日(水)まで中央図書館一階ロビーに展示します。
お問い合わせは、中央図書館(☎31-0415)へ。
【中田幸平】一九二六年栃木県栃本市に生まれる。戦後、新協劇団(現在の東空芸術座)に入りデザインと制作を担当。一九六〇年NHK大河ドラマ「春の波濤」の風俗考証を担当。仕事のかたわら、子どもの大衆文学や遊びの研究を続ける。現在、市内岡崎に在住。

小・中学生とその家族
▽定員 30人(先着順)
▽参加費 小学生200円、中学生・保護者500円
▽申し込み方法 参加費を添えて青少年会館へ
※4月19日(水)から受け付け開始。受け付け時間は午前9時～午後5時。月曜日は休館
お問い合わせは、青少年課(☎32-7029)へ。

激しく燃え上がる運命の恋。

はじめてのオペラ カルメン

——だれもが知っている傑作オペラを日本語でお届けします。——

▷日時 6月18日(日)午後2時開演
▷会場 市民センター
▷入場料 一般2,500円、小・中学生1,000円(全席自由)

※未就学児の入場はご遠慮ください

チケットは、市民センター、山野楽器平塚ラスカ店、ヨネザワ楽器で発売中です。

問 文化財団(☎32-2237)



大人気の絵本「あらしのよるに」の作者

きむらゆういちさんの講演をお楽しみください。

絵本「あらしのよるに」誕生秘話

▷日時 5月13日(土)午後1時～4時
▷会場 美術館ミュージアムホール
▷定員 150人(抽選)
▷申し込み方法 往復はがき(1人1枚)に住所、氏名、電話番号を記入して社会教育課「講演会係」(〒254-0051 豊原町2-21)へ
▷締め切り 4月28日(金)

問 社会教育課(☎35-8123)

ご利用
ください

中小企業退職金共済
ISO認証取得補助金

◇問い合わせ先 工業労政課(☎35-8109)

◆中小企業退職金共済制度 中小企業で働く従業員のための共済制度です。掛け金の助成や税法上の特典などがあります。お近くの金融機関にお申し込みください。
◆中小企業ISO認証取得補助金 ISO9000シリーズやISO14001の認証を取得した際に審査登録機関に支払った経費の一部を補助しています。工業労政課にお問い合わせください。

歳入

収入源 (Income Source)	割合 (Ratio)
自主財源 (Independent Financial Resources)	72.0%
市税 (Municipal Tax)	56.9%
歳入 (Total Income)	28.0%
国庫支出金 (National Treasury Expenditure)	8.9%
市債 (Municipal Bonds)	5.1%
県支出金 (Prefectural Expenditure)	4.4%
その他 (Others)	6.3%
雑収入 (Miscellaneous Income)	8.8%

税制改正などにより、個人市民税増加しますが法人市民税や固定資産の減少により、市税全体では微増と
る見込みです。

平成十八年度予算の概要を紹介いたします。歳入では、税制改正などにより個人市民税や市たばこ税の増収が予測されますが、地方特例交付金や競輪事業からの繰入金が減っています。歳出では、少子高齢化に伴う扶助費などの社会保障費が大幅に増加しています。一般会計の予算全体では、前年度より一・〇％（七億三千万円）減っています。分野別の主な内容は下表のとおりです。

※予算額は万円単位に、一人あたりの額は円単位に四捨五入しています。

六つの基本方針

平成十八年度の予算は、次の六つの基本方針で編成されています。各方針の概要は次のとおりです。

- ①改訂基本計画の適正な推進
総合計画改訂基本計画第三次実施計画の最終年度を迎えますが、厳しい財政状況を踏まえ、事務事業を見直し、計画を適正に推進します。
- ②行政改革の推進
すべての上の事業について、既存の枠にとられない事業の内容・手法の抜本的な見直しに取り組みます。
- ③市民と協働の行政運営
行政サービスの成果や効率性、質の向上を目指すとともに、市民の参加・参画を得て、市民と協働した事業を展開します。
- ④公共施設のストックの有効活用
施設の改修・補強などを推進するとともに、既存施設の機能転換や統廃合などを検討します。
- ⑤行政評価の実施
事業の目的・手段・進捗状況などを検証し、事業の合理化に努めるとともに、行政評価システムの導入に取り組みます。
- ⑥民間活力の活用
民間活力を活用することによりサービス水準を低下させずにコスト削減ができるものについて、業務の民営化・委託化に積極的に取り組みます。また、指定管理者制度を導入することにより、民間のノウハウを活用し、サービス水準の向上と効率的な施設運営を進めます。

予算書は市政情報コーナーで

会計別の予算内容を掲載した予算書などの資料は、市政情報コーナー（市役所一階・21-18764）でご覧いただけます。また、市のホームページ「財政状況」のコーナーでもご覧いただけますので、ご利用ください。

●都市環境づくり

- | | |
|--|-----------|
| 玉川橋と東雲橋の架け替え | 4億6,132万円 |
| ▶桜ヶ丘公園の整備 | 5億2,203万円 |
| ▶環境政策の推進（里山づくりの推進、太陽光発電施設と雨水貯留槽設置の助成） | 1,301万円 |
| ▶さわやかで清潔なまちづくりを推進するための啓発事業 | 731万円 |
| <p>平成20年3月末の完成を目指して整備する桜ヶ丘公園（イメージ）</p> <p>●市民サービスの向上など</p> | |
| ▶広報ひらつかの発行など | 4,135万円 |
| ▶電子計算機関係経費（情報管理機器の使用料など） | 7億9,902万円 |
| ▶高度情報化推進関係経費（電子申請などができるワンストップサービスの導入支援など） | 4,664万円 |

子育て支援センター
(豊田分庁舎)
☎・FAX34-9076

◇**子育ての相談・情報提供**
月・火・水・金曜日 9時30分～16時

消費生活センター
(JAビルかながわ2階)
☎21-7530

◇**来所・電話** 毎週月～金曜日
9時30分～12時・13時～16時

障害がある方の相談
(市役所南附属庁舎1階・障害福祉課)
☎21-8774

◇**手話案内** FAX35-5770
毎週金曜日 9時～12時30分

◇**精神保健福祉(予約制)** 毎週
月～金曜日 9時～16時

療育相談室
(福祉事業センター)
☎・FAX32-2738

◇**子どもの発達・発育の相談**
毎週月～木曜日10時～15時
(来所相談は予約制)

◇問い合わせ先 リサイクルプラザ(☎51-5301)
◀「資源」のはり紙は縦でも横でも、漢字でもひらがなでも構いません

不用になった自転車を集積所に出すときは、「資源」とはり紙をして出すようにお願いしていますが、はり紙がなく出されていることがあり、回収しにくいのかどうか迷うケースがあります。そこで、5月1日からは、「資源」と分けるはり紙のない自転車は回収しないこととします。自転車を資源再生として出すときは、「資源」と分けるはり紙を忘れずにつけてください。

健康福祉

介護保険の特定疾病が変わりました

四十歳から六十四歳までの間で、次の十六の疾病(特定疾病)が原因で介護が必要になったときは、介護保険のサービスを受けることができます。

▽特定疾病(※印は今回追加されたもの)

- ・筋萎縮性側索硬化症
- ・後縦靱帯骨化症
- ・骨折を伴う骨粗しょう症
- ・初老期の認知症
- ・脊髄小脳変性症
- ・脊柱管狭窄症
- ・早老症
- ・糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症
- ・脳血管疾患
- ・閉塞性動脈硬化症
- ・関節リウマチ
- ・慢性閉塞性肺疾患
- ・両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

手助けしてほしい方・手伝いがしたい方

子育て支援の会員を募集します

子どもを持つ親が安心して子育てできるよう、手助けをしてほしい方(依頼会員)と、手伝いをしたい方(支援会員)を募集しています。

【支援会員講習会】

新たに支援会員として活動したい方は、講習会を受けてください。

※未就学児の保育あり

▷日時 5月15日(月)・16日(火)・22日(月)・23日(火) 午前9時30分～午後0時30分

▷会場 福祉会館・保健センター

▷定員 50人(先着順)

▷申し込み方法 ファミリー・サポート・センター(豊田分庁舎内)、公民館などにある申込書を同センターへ

問 ファミリー・サポート・センター(☎34-7101)

※多系統萎縮症(線条体黒質変性症、シャイ・ドレーガー症候群、オリブ橋小脳萎縮症)
※パーキンソン病関連疾患(パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症)
※がん末期
お問い合わせは、介護保険課(☎21-8790)へ。

結核・精神医療附加金を廃止します

国民健康保険の加入者が「結核予防法」「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」による公費負担医療や、「障害者自立支援法」による精神通院医療を受けた場合に自己負担分を助成する「結核・精神医療附加金」の制度は、六月三十日をもって廃止します。

お問い合わせは、保険年金課(☎21-8776)へ。

人間ドックでストッブ生活習慣病

平塚市国民健康保険に加入している方を対象に、人間ドックの受診者を募集します。費用の一部は市が負担します。

担します。生活習慣病予防のため、この機会にぜひ、受診しましょう。

▽対象 次の①～③を満たす方

- ①昭和42年4月1日以前の生まれ
- ②平成17年4月30日以前から引き続き同国民健康保険に加入している
- ③平成17年度までの国民健康保険税を完納している

▽定員 700人(先着順)

▽検査項目 身体測定、呼吸器、循環器、消化器、腎機能、眼機能、聴力、肝機能、糖尿病、血液など

▽実施医療機関 平塚共済病院、平塚市民病院、湘南健診センター、済生会平塚病院、東海大学医学部付属病院

▽受診者負担額 二万二千五十円

お申し込みは、保険年金課(市役所一階⑩番窓口)、駅前市民窓口センター(MNビル十一階、公民館にある申込書を、直接または郵送で保険年金課(〒254-8686 浅間町9-1-1 ☎21-8776)へ。

健康教室に参加しませんか

四十歳から六十四歳までの方を対象に開催します。この機会にぜひ、どうぞ。

①レッツ・エクササイズ
生活習慣病予防に、手軽な運動から始めませんか。

▽日時 4月25日(火)午後1時30分～3時

▽会場 保健センター

▽定員 20人(先着順)

▽持ち物 運動しやすい服装と靴、飲み物

②こころの健康づくり
仕事で受けるストレスへ

の対処方法などを学びます。

▽日時 5月13日(土)午後1時30分～3時

▽会場 ひらつかスカイプラザ(MNビル11階)

▽定員 30人(先着順)

③サラサラ血液にこんにちは(高脂血症の予防)

▽日時 5月27日(土)午前10時～午後2時

▽会場 保健センター

▽定員 20人(先着順)

▽持ち物 三角布、エプロン

▽材料費 300円

忙しい世代の病氣予防―動脈硬化や糖尿病について知ろう

▽日時 5月30日(火)午後1時30分～3時

▽会場 保健センター

▽定員 30人(先着順)

お申し込みは、①②④は電話で、③はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、保健センター(〒254-0054 中里34-17 ☎34-0311)へ。

ご利用ください「高齢者サービス」

お年寄りに向けたサービスなどを紹介します。

お問い合わせは、高齢福祉課(☎21-8778)へ。

■はり、マッサージなどの理療券をご利用ください

七十四歳以上の方に、はり、きゅう、マッサージ、指圧が一回六百円で受けられる理療券をお配りします。

▽対象と配布枚数

- ・昭和7年4月30日以前に生まれた方：12枚
 - ・昭和7年5月1日～8年3月31日に生まれた方：74歳になった月から1か月に1枚
- ▽配布場所 高齢福祉課(市役所南南附属庁舎2階)

不用品登録情報

お譲りします

リサイクルプラザ
(☎51-5301)

器棚、ワードローブ、ぶらさがり健康器、そろばん(5玉)

◇譲ります ①有料 ベビーカー、幼児用車、三輪車、一輪車、紙おむつ、琴一式、こたつ ②無料 キッズキャリー、介護用ベッド、シングルベッド、オーディオセット、ミニコンポ、スキー、製図用具一式、剣道防具

- ・問い合わせ時に品物がない場合もあります
- ・不用品の登録やあっせんは随時受け付けています。交渉は当事者間でしてください
- ・ホームページに品物の詳細を掲載しています
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kankyo/>

◇譲ってください

ベビーバス、ベビーベッド、ベビーカー、子ども用自転車、おふろ用いす、電子オープンレンジ、二段ベッド、木製本棚、食器棚、ワードローブ、ぶらさがり健康器、そろばん(5玉)

オストメイトのための相談会を開催します

オストメイト(人工肛門)人口膀胱を持つ方)の社会復帰に向けて、講演会や相談会を開きます。

ご家族の方もご参加ください。

▽日時 4月16日(日)午後1時30分～4時30分

▽会場 ひらつか市民活動センター

第8回戦没者遺族特別弔慰金を支給します

戦争で亡くなった軍人・軍属の遺族に支給します。

▽支給額 額面四十万円、10年償還の記名国債

▽請求期限 平成20年3月31日

お問い合わせは、生活福祉課(内線2210)へ。

■お年寄りの日常生活用具の購入費を助成します

電磁調理器と火災警報器の購入費用の一部を助成します。購入前にお問い合わせください。

※火災警報器の購入費用助成は6月1日からです

▽対象 市内にお住まいの65歳以上の方で、次のいずれかに該当する方

- ①一人暮らし②世帯員が高齢者のみ③対象者と同居の家族が市民税非課税
- 紙おむつなどの介護用品を支給します
- 介護保険の要介護認定を

■お年寄りのいるご家庭を訪問します

ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りがいる世帯を把握するため、民生委員・児童委員がご家庭を訪問します。ご協力ください。

防犯ワンポイントアドバイス

Point 1 空き巣に気をつけて

平塚市内では、今年に入ってから3か月間で約100件の空き巣が発生しています。その数は、昨年と比べ50%以上増加しています。空き巣の侵入方法は、90%以上がガラス破りです。窓ガラスを破りにくい防犯ガラスにしたり、防犯フィルムや補助錠を取り付けたりするなどの対策が効果的です。

多くの侵入犯は、窓を破るのにかかる時間が10分を超えれば犯行をあきらめています。つまり、侵入に10分以上かかるような対策を



すれば、ほとんどの被害を防ぐことができます。

- 一つのドアに二つのかぎを
- 少しの時間でも家を留守にするときはかぎをかけましょう
- アラームなどの防犯器具を積極的に使いましょう

◆市民安全課(内線2254)

河村 隆一

Tour2006“evergreen”

- ▷日時 6月23日(金) 午後6時30分開演
- ▷会場 市民センター
- ▷前売り券 5,775円(全席指定)

※未就学児の入場はご遠慮ください

※チケットは5月14日(日)午前10時から、市民センター、山野楽器平塚ラスカ店、ヨネザワ楽器で販売します

問 文化財団(☎32-2237)



地域みんなで楽しく交流

子ども大会に参加しよう

◇問い合わせ先 青少年課(☎32-7029)

市内の各小学校区で「子ども大会」を開催します。ミニ運動会やゲーム大会など、楽しい催しが計画されています。ご家族でぜひ、お出かけください。

なお、各地域の開催日・会場などは青少年課にお問い合わせください。

▷期日 5～7月の日曜日

▷会場 市内28小学校ほか

情報館

平塚市役所
〒254-8686 浅間町9-1
☎23-1111・35-1111



◆環境共生型企業懇話会 エアを開催します

環境共生型企業懇話会の活動や、企業の環境に対する取り組みのほか、市内の幼稚園、小・中学校がチャレンジした「わかば環境ISO」の活動を紹介します。

▽日時 4月18日(火)・21日(金) 午前8時30分～午後5時(最終日は午後3時)
▽会場 市役所1階市民ホール
お問い合わせは、工業労働課 ☎35-8109へ。

◆清掃業務見学会でごみ処理のことを学ぶ

市内のごみ処理施設を見学して、「ごみ」や「資源」の処理について学びませんか。
▽開催日 火曜日・金曜日(毎月29日・31日を除く)
▽見学施設 環境事業センター、遠藤原一般廃棄物最

終処分場、粗大ごみ破砕処理場、リサイクルプラザ
▽対象 市内にお住まいの15～25人のグループ
お問い合わせは、リサイクルプラザ ☎51-5301へ。

◆青少年会館でボランティア講習と美術教室

お申し込みは、青少年会館 ☎32-7029。月曜日は休館へ。

①ボランティア養成講習「手話」

▽日時 5月6日・13日・20日・27日、6月3日・17日の各土曜日、午後1時30分～3時30分
▽対象 市内にお住まいの中学生・30歳の方
▽定員 20人(先着順)

②ボランティア養成講習「読み聞かせ入門講座」

絵本の読み聞かせの基礎を学びます。
▽日時 5月13日・27日、6月3日・17日、6月24日の主

月3日の各土曜日、午前10時～正午
▽対象 市内にお住まい、お勤め、通学の方
▽定員 20人(先着順)

③子ども美術教室

水彩画や陶芸(テラコッタ)、染織、七宝焼きなどを習いませんか。
▽日時 5月13日・平成19年3月24日の主

④バドミントン教室

▽日時 5月20日・27日、6月3日・17日・24日の各土曜日、午前10時～正午
▽対象 市内にお住まいの小学校4年生～中学校3年生
▽定員 20人(先着順)
▽教材費 三千円

◆「働く女性のキャリア開発講座」受講者を募集

相手も自分も大切にするコミュニケーションの方法を学ぶほか、受講者同士の交流会も予定しています。
※未就学児の保育あり。予約は4月28日(金)までに
▽日時 5月20日(土)午前10時～午後5時
▽会場 ひらつかスカイプラザ

た市民行動として昨年8月にスタートした「ひらつかCO2CO2プラン」登録していただいたみなさんに、温暖化の原因である二酸化炭素を減らすための行動にチャレンジしていただいています。地球全体からみると小さな取り組みですが、わたしたちにできることから始めていきたいと思います。

CO2CO2プラン・わたしの取り組み

丹下香織さん(上平塚)

コツコツプランは二酸化炭素の削減量が見えるので、わたしの取り組みが地球温暖化防止に貢献していることが実感できました。子どもたちにも、すてきな環境を残していきたいと思います。



嘱託員を募集します

①国民健康保険税徴収嘱託員 <1人>

▽対象 昭和21年4月2日～62年4月1日に生まれ、原動機付き自転車の運転免許がある人
▽職務内容 国民健康保険税の徴収、納付相談など
▽勤務日時 週5日、午前9時～午後3時45分(休日などの勤務は平日に振り替え)
▽賃金 月額110,300円+能率給(実績平均133,800円)

②就労指導嘱託員 <1人>

▽対象 昭和21年4月2日～42年4月1日に生まれ、就労指導業務、採用業務などの経験がある人
▽職務内容 生活保護受給者への就労支援
▽勤務日時 週3日、午前9時～午後4時45分
▽賃金 月額129,200円

③教育委員会業務嘱託員 <若干名>

▽対象 昭和25年4月2日～63年4月1日に生まれた人
▽職務内容 ①給食調理(学校給食共同調理場勤務) ②給食調理(学校勤務) ③校務作業
※希望職種以外で採用する場合もあります
▽勤務日時 ①週4日、午前8時～午後4時15分(8月は指定日のみ) ②週5日、午前8時30分～午後3時15分(8月は指定日のみ) ③週5日、午前8時～午後2時45分
▽賃金 ①②月額120,000円、③月額117,100円

◆採用予定日 平成18年7月1日
◆雇用条件 雇用期間は1年度以内(更新あり)。詳細は募集案内をご覧ください
◆一次試験日時 4月29日(祝) 午前9時30分～正午
◆応募方法 ①②は職員課(市役所3階・☎21-8762)、③は教育総務課(豊原分庁舎1号館2階・☎35-8113)にある受験申込書を4月17日(月)～4月26日(水)に本人が直接同課へ ※土・日曜日は除く

〔公聴会〕

▽日時 6月6日(火)午後7時～9時 ※公述の申し出がない場合は中止
▽会場 金目公民館
お問い合わせは、都市政策課(内線2429)へ。

◆教育委員会定例会を傍聴しませんか

▽日時 ①4月26日(水)午後2時開会②5月24日(水)午後2時開会
▽会場 豊原分庁舎1号館1階会議室
お問い合わせは、教育総務課(☎35-8113)へ。

◆駅前市民窓口センターを休館します

機械保守のため、MNBビル十一階の駅前市民窓口センターを休館します。
▽日時 5月3日(祝)・4日(休)
お問い合わせは、市民課(☎21-8773)へ。

◆都市計画素案の公聴会を開きます

真田・北金目特定土地区画整理事業区域の用途地域変更素案に関する公聴会を開きます。
【素案の閲覧・公述の申し出】
▽期間 5月2日(火)～23日(火) ※土・日曜日は除く
▽会場 都市政策課(市役所4階)

◆男女共同参画推進団体として登録しませんか

登録団体が市と共催で事業を実施する場合、経費の補助を受けられるなどの特

◆4月納期の手数料

清掃し尿従量手数料(第1期) 納期最終日 5月1日(月)
納付には便利な口座振替をご利用ください。
市役所1階⑤番窓口、市内の金融機関でお申し込みいただけます。
問 市税総務課(☎21-8769)

貸し出しています

広報ビデオ

★ビデオの一覧は市のホームページで「平塚発 メディア情報」→「平塚市提供の広報番組」→「広報ビデオ」

新作ビデオ紹介

海と大地の恵み 平塚の郷土料理

先人たちの知恵と、自然との共存の歴史が凝縮された「郷土料理」。平塚に伝わるおいしい郷土料理を探し、実際に作っていただきました。(5月にSCNで放送します)

問 広報課(☎21-8761)



番組からのワンシーン「道祖神祭りに向けただんごづくり」

平塚の歴史や文化、人物、行政課題などをテーマにしたテレビ番組を、ケーブルテレビ(SCN・湘南ケーブルネットワーク)で放送しています。また、旧作から最新作まで、これまでに制作した番組のビデオを図書館や広報課で貸し出しています。

感動のドラマは平塚競技場で

燃えろ! 湘南ベルマーレ

4月18日(火) 平塚競技場 19:00～ 湘南 vs 草津
5月3日(祝) 平塚競技場 14:00～ 湘南 vs 神戸
5月14日(日) 平塚競技場 14:00～ 湘南 vs 徳島



勝利の喜びをスタジアムで。

◇主なチケット販売所

- 梅屋(本館1階サービスカウンター)
- サクラ書店各店
- 神奈中駅前サービスセンター
- にしきスポーツ
- 総合公園管理事務所

◇前売り料金

指定席	3,500円
ファミリー席(大人1人+小学生～高校生1人)	2,200円
自由席(大人)	2,000円
自由席(小学生～高校生)	700円
自由席(シニア・65歳以上)	600円

※シニア券は身分証明書を持って試合当日お求めください

↓このバーコードを読み取ってアクセス



携帯電話から「防災情報」

◇問い合わせ先 防災課(☎21-9734)

携帯電話からアクセスできるホームページ「防災への第一歩」を開設しました。防災に役立つ情報をお知らせするほか、災害発生時に避難者がある場合は、このページに「避難施設名」と「避難者名」を掲載します。

▷携帯電話版URL <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/bousai/i/>
▷パソコンからは <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/bousai/>

赤ちゃんの健康メモ



●保健センター
・中里34-17
・☎34-0311

バス 平塚駅北口⑤番線から諏訪町・農業高校経由市民病院行き、「医療センター前」下車、大人片道170円 ※同番線からの湘南日向岡行き、東海大学行き、金田公民館行きも停車します。

5月のカレンダー

会場・問い合わせ先は保健センターです。母子健康手帳を忘れずに。

母親父親教室

【前期 妊娠6か月までの方】

- 1日(月)午後1時30分～3時15分、歯の衛生・妊娠中の過ごし方
- 8日(月)午前10時～午後2時、調理実習で学ぶ妊娠中と産後の栄養(予約制)

【後期 妊娠8か月以降の方】

- 15日(月)午後1時30分～3時15分、お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法。祖父母教室も開催
- 26日(金)午後1時30分～3時30分、赤ちゃんのおふろ

子育て相談

【妊婦・新生児の訪問相談】ご自宅で、妊娠中の健康

管理や新生児に関する相談をお受けします(予約制)。

【育児相談】

生活、歯の衛生、食事の相談。

◇受け付け 毎週水曜日午前9時30分～10時30分

【にこにこ相談】

生活、食事の相談。

◇受け付け 10日(水)・24日(水)午後1時30分～3時

乳幼児の健康診査

【個別健康診査】

医療機関へ直接お申し込みください。実施医療機関の一覧表は保健センターでお配りしています。

◇4か月児対象(満4か月～5か月未満)

◇8～10か月児対象(満8か月～11か月未満)

【集団健康診査】

受診日の1週間前までに案内通知を送ります。受け付け時間は午後1時～2時です。

◇1歳6か月～1歳7か月児対象

- 9日16年10月1日～10日生
- 16日16年10月11日～20日生
- 23日16年10月21日～31日生

◇3歳2か月児対象

- 11日15年3月1日～10日生
- 18日15年3月11日～20日生
- 25日15年3月21日～31日生

【歯科健康診査(予約制)】

歯の健康診査や相談、歯みがき実習など。

◇2歳1か月児対象

- 10日(水)午後1時30分～2時30分



♠小池遼汰朗ちゃん
(入野)
平成17年5月7日生まれ



♥宇田川莉子ちゃん
(横内)
平成17年5月6日生まれ



♥村島初寧ちゃん
(中里)
平成17年6月14日生まれ

応募方法 カラー写真の裏に赤ちゃんの氏名(ふりがな)・生年月日・性別・住所・電話番号を記入し、広報課「赤ちゃんのステージ」係(〒254-8686 浅間町

赤ちゃんのステージ

9-1)へ。対象は市内にお住まいの1歳未満(掲載時)の赤ちゃん。締め切りは前月の20日(抽選)。応募は1回あたり1通まで。今回の応募は38人。



♥権田莉奈ちゃん
(四ノ宮六丁目)
平成17年8月10日生まれ



♥村井奏天ちゃん
(飯島)
平成17年7月29日生まれ



♥心瀬桜ちゃん(左)・緑ちゃん(右)
平成17年4月20日生まれ(中原三丁目)

★応募写真は平塚市ホームページ「広報ひらつか」のコーナーでも紹介します。デジタル写真の応募も同サイトをご利用ください。

子育て教室

お子さんと一緒に学べる体験教室です(予約制)。

【歯っぴい教室】

12か月～1歳3か月児対象。

● 9日(火)午前10時～11時

【のびのびキッズ2歳児教室】

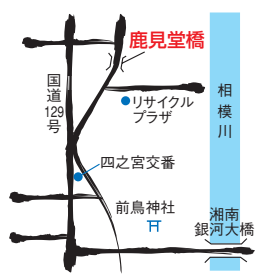
2歳児対象。時間は午前10時30分～11時30分です。

- 12日(金)楽しい食事と好き嫌い
- 26日(金)むし歯予防とブラッシング実習

インターネットで離乳食相談

管理栄養士がお答えします。
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kenko/kodomonono.htm>

昔話の平塚歩き



はした箸立ての森

ある年の春のこと、徳川家康が前鳥神社の北の野原で昼食の弁当を開いたところ、箸が見つかりました。すると、前鳥神社の神主が箸を持ってきて差し出しました。家康は喜んで「望むことがあれば言うがよい」と言いました。神主は、「このあたりは砂地で、砂が吹き込まぬよう、木を植えるのです。かなうまいと思いません。お助けください」と頼みました。しばらく考えた家康は、使っていた箸をいさなり地面に突き立てて「この杉の箸からやがて根が生えて、芽が出るだろう」と言いました。

しかし、箸から根が生えるわけがありません。村人は、將軍様がまた来られたときに生えていなければ大変と、杉の苗木を植えることにしました。あくる年、家康が再び村を訪れると「箸がこのようになると思いません。また、やってみよう」と、たくさん箸をあたり一面に突き立てました。驚いた村人は、また杉の苗木を植えました。そして、何年かたつて、立派な杉林ができたそうです。家康は人に頼らず、まず努力することが大切だと教えたのでした。

この林のちに「箸立ての森」と呼ばれました。

「箸立ての森」の付近にはお堂が建てられ、「鹿見堂」と呼ばれていました。森とお堂の姿は今も残っていますが、橋や交差点に「鹿見堂」の名が残っています。

※紹介した昔話は「むかしばなし続平塚ものがたり／著者今泉義廣氏」を要約したものです。この本は市内の図書館で借りられます。

ひらつか図鑑

●第25回●
スミレ



▶アスファルトのすきまに根付いたスミレ(達土ヶ丘)

市街地に復活した春の花

スミレといえばタンポポやレンゲとともに、代表的な春の花として親しまれている野草です。一口にスミレと言っても多くの種類があり、神奈川県全体では約三十種、平塚でも八種が見つかっています。その中でも「スミレ」という名の種類は、濃い紫色をした大きな花をつけ、スミレの中のスミレといった存在です。

「スミレ」は草丈の低い明るい草地に生える種類で、一昔前まではどこでも見られましたが、だんだん数が減り、絶滅が心配されるほどでした。しかし、近年になり、市街地で復活の兆しを見せ始めました。それも駐車場の隅とか、舗装道路の路傍などで、アスファルトのすきまに

たくましく根付き、群生している場所も少なくありません。なぜ、スミレが復活してきたのかは難しい問題ですが、都市的な環境に適応した、特に乾燥に強い系統のものが生まれてきたのかもしれない。また、その分布を広げるにあたって、大きな役目を果たしたと考えられるのはアリの存在です。スミレの種子には脂肪分の塊がついており、アリが好んで運ぶことが知られています。舗装された場所でも、ちょっとしたすきまには、地下に通じるアリの巣の入り口があるものです。そのアリの働きで、スミレは市街地に分布を広げていったのではないのでしょうか。

都市的な環境にも、何とか生き続けている動植物があり、そこにも生きもの同士のつながりが見られるのです。

▽担当 博物館(☎33-5111)